

千葉経大新聞

第52号
発行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111(代)
FAX.043(254)6600
http://www.cku.ac.jp

「社会の原義と共感・共生」

学長 小滝敏之



世の中、「高度情報化社会」とか「グローバル社会」などといわれて久しい。これらの意味するところは多義的とはいえ、概して、高度の情報や知識を駆使できるものでなければ生き残れないとか、地球規模レベルでの競争に打ち勝ち世界を制覇していくことが必要であるとかいうような含

意がある。
しかし人間社会は決して競争一辺倒の世界でもなければ適者生存の世界でもなく、またそうであってはならない。勝者や強者のみ生き残る「競争社会」などではなく、敗者や弱者も共存し共生し支え合っていく「共存社会」でなければならぬ。

合っていくためには相手の気持ちを理解し合う心がなければならぬ。論語でいう「恕(じょ)」や「仁(じん)」の精神、すなわち「思いやり」「共感」の心であり、この「共感(シンパシー)」の心情こそ「共生(シンビオシス)」の基盤をなすものといえる。

「社会」を意味する英語の「ソサイエティ(Society)」やフランス語の「ソシエテ(Societe)」という用語は、「ソキエタス(Societas)」というラテン語に由来する言葉であるが、「ソキエタス」は「結合する」「結束する」という意味の「ソキオ(Socio)」や「仲間」を意味する「ソキウス(Socius)」という言葉から派生したもので、人間の仲間同志の結束した姿を「ソキエタス」と呼んでいた。した

経済学と価値判断

経済学部長 鈴木信雄



経済学の歴史を振り返ってみると、経済活動と秩序形成の問題は密接不可分の関係にあるという認識が経済学の成立にとって決定的に重要であったことが理解できる。経済学を生誕させた代表的人物であるA・スミスが、経済活動がもたらす秩序形成機能に

ある」として、この何よりの証左でもある。さらに、A・スミスと並んで経済学を生誕させた人物であるF・ケネーやJ・ステュアートも同様な認識に立っている。経済学の歴史の中で、あらゆる社会現象を演出する根本的原理は経済過程にあるとする「経済決定論」と呼ばれる考え方が有力であるの

のようには評価するかという「当為」の問題を巡る見解に对立が残らざるを得ない。経済学の歴史を、ただ単に理論の修正・発展の歴史として描くことができないのはそのためである。要するに、それぞれの経済学の背後には常に特定の価値判断が介在しているのである。

だが、現代の「経済学」に直接繋がりを持つ十九世紀後半以来の経済学は、数学をツールとした自然科学を手本にして、価値判断を経済学から追放しようとした。こうして、イデオロギー的立場が如何なるものであろうとも万人が認める経済「科学」の構築、これが彼らの共通したスローガンとなり、経済科学の中立性という神話の創造に精を出すことになる。だが、経済学をできるだけ自然科学に近づけ、経済現象を数学という「驚くほど緊密かつ精密

な言語で明白に表現できるよ」う」になったからといって、それはイデオロギー的主張を排除したことを意味するのではない。J・M・ケインズは、この点に関して「経済学は基本的に道徳科学であって、自然科学ではない」と述べている。つまり、あるべき秩序、あるべき規範といった日常生活を律している価値判断から経済学は自由であり得ないと言っているのである。

この問題は、M・ヴェーバーが「価値自由」の問題として議論したところのものである。M・ヴェーバーの言う「価値自由」とは、社会科学における価値判断の排除を意味するものでも、またそのような方法的態度によって認識の客観性が獲得されることを主張するものでもなく、客観性は主観的前提のうえに成り立つものであって、この自覚の上に恣意的な価値判断を

抑制できる自由な精神を指している。それ故、安易に社会科学における価値判断の排除を主張することは、かえって特定の価値判断による拘束を招く可能性が大きいとも言える。経済学が、価値判断の排除という原則を掲げ、自らを中立の立場で理論構築を行っていることを確信している時である、結果としてみれば、十九世紀以来の産業社会のイデオロギーの数学的緻密化に汲々することなのである。

採用試験では筆記試験はもちろんのこと、書類選考や面接試験の中で時事力が問われる傾向にあり、広い視野で世の中を捉え、社会人と同じ土俵で対話する力が問われるようになってきています。

また、採用面接試験の典型質問である「ガクチカ」(「学生時代に最も力を入れてきたこと」)において、「語れる経験」として、N検合格を活用しながら内定をもらう学生が増え始めています。

自分ができる仕事を探すためにも「時事力」は大きな助けとなります。入学したばかりの新生生の皆さんにも是非積極的にN検にチャレンジしてほしいと思います。

採用試験では筆記試験はもちろんのこと、書類選考や面接試験の中で時事力が問われる傾向にあり、広い視野で世の中を捉え、社会人と同じ土俵で対話する力が問われるようになってきています。

また、採用面接試験の典型質問である「ガクチカ」(「学生時代に最も力を入れてきたこと」)において、「語れる経験」として、N検合格を活用しながら内定をもらう学生が増え始めています。

自分ができる仕事を探すためにも「時事力」は大きな助けとなります。入学したばかりの新生生の皆さんにも是非積極的にN検にチャレンジしてほしいと思います。

この度、NPO法人日本ニュース時事能力検定協会より、本学の検定試験に向けた

日頃の取組みに対して「団体賞」が授与されました。

本学では二〇一一年の後期にニュース時事能力検定(N検)を導入して以降、年四回のペースで、団体受検(学内受検)を実施してきました。

受検者数も回を追うごとに増加傾向にあり、一年生から四年生までの四〇〇五〇名が毎回受検しています。

また、最近では一級・五級の六つの受験級のうち上位級(二

ニュース時事能力検定試験 団体表彰を受賞しました

准教授 中 眞 剛

この度、NPO法人日本ニュース時事能力検定協会より、本学の検定試験に向けた

日頃の取組みに対して「団体賞」が授与されました。

本学では二〇一一年の後期にニュース時事能力検定(N検)を導入して以降、年四回のペースで、団体受検(学内受検)を実施してきました。

受検者数も回を追うごとに増加傾向にあり、一年生から四年生までの四〇〇五〇名が毎回受検しています。

また、最近では一級・五級の六つの受験級のうち上位級(二

賞状

千葉経済大学 賞状

貴校は平成二十五年(二〇一三年)度ニュース時事能力検定試験において、頭書の通り優秀な成績を収められました。

依つて、この学業を称え、これを賞します。

平成二十六年三月一日

日本ニュース時事能力検定協会
名誉会長 養老 孟司

がって、「ソキエタス」や「ソサイエティ」は、「共感」で

大規模化し匿名化した現代社会では、人間の心のつながりなど失われがちであるが、語源の「社会」や「ソキエタス」に生きていた「共感」や「共生」の精神を復活再生して、お互い支え合っていくことのできる社会にしていく必要がある。

次の日からはガイダンスや新入生歓迎会など、大学生と

たから、「ソキエタス」や「ソサイエティ」の訳語として用いられる素地はあったわけであ

清々しい春の気候のもと、新入生たちの表情はその気候と同様清々しく、また夢と希望に満ち溢れていました。

式典では、本学の理事長、学長などが新入生に向けて華やかな言葉を贈り、代表の学生からも期待に応える宣誓がありました。

式典の後は、毎年恒例の在学生によるクラブ紹介もありました。

千葉経済大学の目指す目標とスローガン

- 1 私たち千葉経済大学は
- 2 私たち千葉経済大学の教職員は
- 3 私たち千葉経済大学の教職員は

平成26年度 入学式挙行

平成二十六年四月一日(火)、学内の桜もすでに満開の中、平成二十六年年度の入学式を挙

清々しい春の気候のもと、新入生たちの表情はその気候と同様清々しく、また夢と希望に満ち溢れていました。

式典では、本学の理事長、学長などが新入生に向けて華やかな言葉を贈り、代表の学生からも期待に応える宣誓がありました。

式典の後は、毎年恒例の在学生によるクラブ紹介もありました。

次の日からはガイダンスや新入生歓迎会など、大学生と



大学WEBサイト(ホームページ)がリニューアルしました!

平成二十六年五月十五日午前十時から、大学WEBサイト(ホームページ)がリニューアルしました。

今回設計の目的は、本学を高校生、在校生、卒業生、保護者の方、学内外問わず広く一般の方に、必要とされている情報を広く発信し、入試広報、研究広報、卒業生に対する帰属意識の向上に努めるものとして

基本デザインは、スクールカラーのオーベルジーヌ(茄子紺色)をメインカラーとして主要な箇所を校名



は常に掲載してブランドイメージの確立を図れるように施しています。またアクセスした方が「見たい情報がすぐに見られる」ように、トップページのナビゲーションはシンプルかつ分かりやすい表現と、ドロップダウンメニューを採用してすぐに目的情報にたどり着ける設計としています。

サイトの構成は、大学概要(主に大学紹介)、学部・大学院(主に学部の紹介)、キャンパスライフ(主に学生生活やサポート体制の紹介)、就職・キャリア形成(主に就職支援の紹介)、社会連携・生涯学習(主に地域経済博物館やオープンアカデミーの紹介)、入試情報(主に大学入試制度、オープンキャンパス

の合同発表会に向けた作業は自ら行動する学習スタイルです。そこで「主体性」が養われます。

また、学期末の合同報告会で報告することが決められているわけですから、そこに向けていつまで何をやるか決めなければなりません。そんな作業が「実行力」、「計画力」を養います。

そして、自分の意見を相手に伝えるためにはわかりやすいように工夫しなければならず「発信力」が養われるでしょう。

さらに、他人との共同作業を行う場合には、互いに作業しやすい環境を作るための約束事が必要となってきますから、「規律性」が養われることとでしょう。

ここで挙げた要素は、社会人となつて他人と共同で仕事を進めていく上で、絶対になくしてはならない普遍的な能力です。学問的な能力を磨くだけでは

きる仕組みにし、また教員の研究成果を掲載するページや、在学生のクラブ・同好会の活動紹介を各団体が掲載するページを充実するなどしています。

まずはご覧頂き、ご意見ご感想などございましたら、入試広報センターまでお寄せください。

千葉経済大学では、今年度より基礎演習のプログラムを根本的に刷新しました。

メインイベントは学期末に行われるクラス対抗の合同報告会です。

今年度から基礎演習Ⅰ・Ⅱでは、すべてのクラスを複数のグループに分け、グループごとに協力して「テーマを決めて調べる」、「わかったことをまとめる」という作業を



大学での新たな取り組み ―皆さんの能力アップに向けて― 教務部長 小野正芳

行ってもらい、最後に「他人に説明する作業を行います。これら一連の共同作業を通じて「主体性」、「実行力」、「計画力」、「発信力」、「規律性」を養ってもらいたいと願っています。

これらは「社会人基礎力」を構成する要素です。千葉経済大学は「社会人基礎力」を持った人材の育成を目指しており、基礎演習を通じて、具体的にこれらの能力を養成しようというわけでは

ほとんどの授業では、教員が説明することを学ぶというスタイルをとることが多いと思います。一方、基礎演習で

また、学期末の合同報告会で報告することが決められているわけですから、そこに向けていつまで何をやるか決めなければなりません。そんな作業が「実行力」、「計画力」を養います。

そして、自分の意見を相手に伝えるためにはわかりやすいように工夫しなければならず「発信力」が養われるでしょう。

さらに、他人との共同作業を行う場合には、互いに作業しやすい環境を作るための約束事が必要となってきますから、「規律性」が養われることとでしょう。

ここで挙げた要素は、社会人となつて他人と共同で仕事を進めていく上で、絶対になくしてはならない普遍的な能力です。学問的な能力を磨くだけでは

専任講師 都築 栄司

高校までと違い、大学には自由時間が山ほどあります。熱中できることを見つけ、それに打ち込んでください。

そんなこと言われても

新任教員所感



……と思ったあなたは、まず好きなこと、得意なことを見つけてから始めてみては? これまであまり興味を持てなかったことを試しに一度やってみると、意外な発見があるかもしれません。

そんなことのできる期間は長い人生の中でもこの四年間くらいです。その経験は卒業後きっと輝かしいものとなるはずですよ!

「社会人基礎力」に代表されるような普遍的な能力も磨いてください。

授業紹介

内山ゼミ紹介

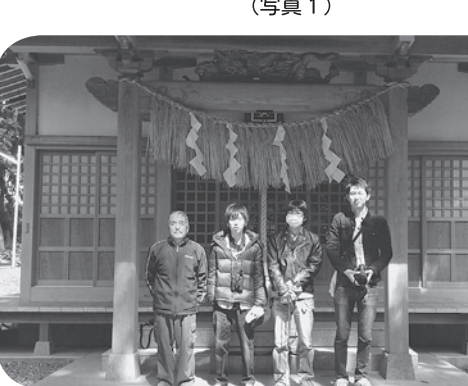
北総の里山を歩く

教授 内山 隆

生態学演習として、三月二十一日に千葉からも程近い里山の現状を見学してきました。参加した学生は里山に関心を持つ新四年生一名と三年生二名の三名でありました。

が、開発されつつある住宅地と里山地域の環境、さらに都市部との比較を実感できる機会になったと思います。

対象とした物井地区には鹿島川沿いの水田地帯を見下ろす台地上に、天照皇大神社、円福寺、宝蔵院が位置し



(写真1)

た「そうです。また、「台地の低地が「もねの里」として開発されており、周縁には物井駅からの道路が新設中でした。(写真1)

現地の案内には亀崎在住の林田さんをお願いし、田園環境の変遷について説明を受けることができました。林田さんによると、「台地から浸みだす水は、水量が安定しており谷津田の稲作に適してい

この他、集落が点在する台地の里山は、「建材などの多岐にわたる用途に使われ生活資材の供給地」として管理されてきましたが、近年は「化石燃料への依存度が高まり、それまでの松(燃料)や、ケヤ

最後に訪問した亀崎熊野神社で林田さんと記念撮影をおこない早春の観察会を終了しました。(写真2)

この見学会をもとに、提出されたレポートからエピソードの抽出と検討を四年生が担当し、卒論の出発点にする計画をたてています。

さらに、SATO YAMAとして世界中でその価値が認められる中、豊かな農業の歴史をもつ日本はその保全に先導的な役割を担うことが必要です。そこで世界農業遺産として登録された大分県宇佐地域のクヌギ林のシイタケ栽培を対象とした情報整理なども行ってみようと考えています。

(写真2)

平成25年度 卒業証書 学位記授与式

平成二十五年千葉経済大学卒業証書・学位記授与式及び卒業謝恩会が、市内ホテルにて挙行されました。

学位記授与式では、大学院(修士)五名、経済学科一五名、経営学科



一二二名、経済学部合計二二七名の卒業生に学位記が授与されました。

式後には、恩師からの学位記授与を受け、感謝の言葉を述べた者、お互いをたたえあう者など、様々な表情が見受けられました。

学生チューター導入について

平成二十六年より、本学に学生チューター制度を導入いたしました。

現在本学においての学生チューターの役割としては、「パソコン教室支援」「入学前学生への事前学習支援」があり、共に平成二十五年より試験的に実施しております。



「入学前学生への事前学習支援」につきましては、本年度も年度末に入学者が確定し始めた頃、改めて人選を行い実施しますが、「パソコン教室支援」につきましては、新年度より正式に業務に従事するよう進めております。

チューターの選考対象学生は、何らかの形で経済的支援を行っている学生であり、更には学習内容の良さも選考基準に含まれるため、そのような学生に向けた仕事を学内へ導入することで、大学としてパソコン教室での利用者への

西千葉駅前通りの活性化 大学・附属高校・商店街の連携で新生を歓迎

教授 栗沢尚志

本学入学式に合わせ、写真のような『入学おめでとう』の西千葉へ」と力強い毛筆で書かれた黄色の「のほり旗」が前日から立ちました。

本数は三十本、場所はJR西千葉駅前から本学へと伸びる通学路の一部（ゆりの木通り）です。この企画の発案者は西千葉で五十一年間美容室を経営され、ゆりの木商店街のリーダーでもある海保眞さんです。海保さんは地元西千葉を愛し、そして地元経済のこころを心配されています。西千葉のまちづくりをどうしたらよいか？

そこで思いついたのが、のほり旗で新入生のみならず、の温かい歓迎と「お・も・て・な・し」の気持ちを送るようというアイデアでした。西千葉は、本学をはじめとする六

つの大短高が集まる学園のまちだからです。企画名は「よこそ西千葉プロジェクト」と名づけられました。

のほり旗の文字は、多くの人たちを感動させました。その文字は本学附属高校書道部のみなさんが書いてくださったものです。なんと一枚仕上げるのに三時間もかかりました。そして本学の学生さんたちは、ゆりの木通りのそよじ、のほり旗の設置、入学式当日は大学へと向かう新入生や保護者の方々に「おはようございます」「おめでとうございませう」とスツ姿で元気づけました。

その様子、新聞社二社と地元ケーブルテレビ局一社が取材してくださりました。

なお、千葉日報社の記事は本学のホームページ（キャン



図書館 トピックス

大学一号館と図書館二階をつなぐ連絡通路が昨年十一月に完成し、図書館の利用がとて便利になりました。それまで、図書館に行くには外を回るため雨の日は学生の利用者が少なかったのですが、連絡通路の利用により濡れずに図書館に行くことができるようになったため、学生の利用が増えています。

また、キャリアセンターが連絡通路から近い場所にあることも踏まえて、就職活動する学生を支援しやすいように、これまで図書館三階に配架していた就職・資格資料を二階に移動しました。



四月の授業開始から就職活動する大学四年生が二階の就職関連資料を利用する姿や、閲覧機でエントリースーツを書いている姿も見られます。

短大新入生ガイダンスの終了後には、図書館を訪れた初等教育コースの男子学生から、小学校教員試験に役立つ資料の質問がありました。

今春入学したばかりの女子学生の中には、ほぼ毎日開館直後に訪れ、公務員試験の本を読み勉強している人も見られます。

いずれも、新入生の意識の

高さを反映したもので、楽しみます。

図書館では、学生のみならず、利用しやすいような環境づくりに努力しています。どこに資料を配架すれば探しやすいか、静かに調べ物や勉強ができる環境をどうしたら提供できるか考えながら運営しています。

利用者の求める情報を探すお手伝いをする、学問や知識の修得に役立つ資料を揃えることを目標に日々励んでいます。

いずれも、新入生の意識の

平成25年度千葉経済大学 学生懸賞論文の審査を終えて 地域総合研究所



三回目を迎えた本学学生懸賞論文ですが、今回も四編の力作が寄せられ、優秀賞が三編、佳作が一編という結果になりました。後段の各論文の概要並びに所見を掲載いたします。

STAP細胞をめぐって、研究論文の在り方についての議論が盛んに行なわれていますが、図らずも社会科学の方法論という観点から見ると、今回の懸賞論文はおおよそ今日議論を通して網羅されていることに気づきます。

アンケート調査をベースにした厳密な統計的処理の結果から知見を得ようとするもの、現象学的な、当事者の視点で行われる内部視点をベースにした議論の展開をめざすもの、あるいは行為者の主観的な思いや直観を大切に、それを立脚点とするような社会構成主義的な視点に立っていないものもみられますが、おおよそ今日、取り上げられるべき社会科学の方法論が展開されていることに驚きを感じ得ないものがあります。その意味では学生諸君が今日の社会を真摯にとらえ、何をすべきかを考え抜いた成果がこうした適切な方法論の採用に行き着いたものであると考えています。

今後論文を執筆しようとしている学生諸君も、社会科学の方法論に思いを巡らせ、時代の求める社会科学の方法論とは何か、仮説検証におけるよる魅力的な仮説の設定はもとより、若い学生諸君の主観的な思いや直観といった、とすれば排除されがちな要素に言語表現を与えてゆくに位置するものであることを忘れず、ユニークさと情熱あふれる論文を寄稿していただくことを切に願っています。各論文の概要並びに所見は以下の通りです。

と、今回の懸賞論文はおおよそ今日議論を通して網羅されていることに気づきます。

アンケート調査をベースにした厳密な統計的処理の結果から知見を得ようとするもの、現象学的な、当事者の視点で行われる内部視点をベースにした議論の展開をめざすもの、あるいは行為者の主観的な思いや直観を大切に、それを立脚点とするような社会構成主義的な視点に立っていないものもみられますが、おおよそ今日、取り上げられるべき社会科学の方法論が展開されていることに驚きを感じ得ないものがあります。その意味では学生諸君が今日の社会を真摯にとらえ、何をすべきかを考え抜いた成果がこうした適切な方法論の採用に行き着いたものであると考えています。

今後論文を執筆しようとしている学生諸君も、社会科学の方法論に思いを巡らせ、時代の求める社会科学の方法論とは何か、仮説検証におけるよる魅力的な仮説の設定はもとより、若い学生諸君の主観的な思いや直観といった、とすれば排除されがちな要素に言語表現を与えてゆくに位置するものであることを忘れず、ユニークさと情熱あふれる論文を寄稿していただくことを切に願っています。各論文の概要並びに所見は以下の通りです。

優秀賞 岩瀬 貴大(経営学科卒)

「B級グルメリュウをいれたまちおこしの有用性」成功事例を通して」についての概要と所見

「B級」当「地グルメリュウ」という興味深い対象について、研究史を踏まえ独自の理論を展開し秀逸な論文です。文章力も十分であり、多くの参考文献を用いていることも評価できます。主張も明確で、論点の絞り込みもしっかりしており、指導教員の適切なアドバイスがあったものと思われ。

ただし、Jリーグと過疎化対策の関連が不明確な点、B級グルメリュウに対する自治体の「介入」に対する理解が実情と異なる点が気になります。本論のベースは、地域の過疎化とそれに対するB級グルメリュウによるまちおこしであり、Jリーグの例は入るべきではなかったと考えます。また、対象となる自治体には、実際にそれそれ観光課が設置されているわけ、当然予算措置もとられているわけ、介入ではなく、公務としてまちおこしやB級グルメリュウへの援助が行われている。

特に私は、論文の対象となっていない「勝浦タンメン」の勝浦市の住民であり、この「勝浦タンメン」が必ずしも地元で定着していない現状から、地域にとっての成功例としてとりあげてよいものかどうか疑問を感じる点があります。

できれば、成功例のみならず、成功しなかった例もとりあげ、比較しながら、論文に対する所見です。以上が、本論文に対する所見であり、論文としては優秀なものであり、「優秀賞」が妥当であると考えます。

優秀賞 藤原 順夢(経営学科卒)

「人にとって物語を書く意味とは」についての概要と所見

本稿「人にとって物語を書く意味とは」は、著者が常に感じていた、なぜ自分は物語を書きたくて、いつか疑問から出発し、人にとって物語を書く意味について考察しようとするものもである。ここでは精神分析学の知見を援用し、夏目漱石、川端康成の二人の作家を取り上げ、愛着障害に対する自己治療の試みとして「物語を書くこと」のあることを明らかにする。

さらにステイブン・キングの自伝を考察し、他人に褒められ、評価され、幸せになるために「物語を書くこと」のあること、さらには自身「物語を書くこと」の省内のこの「これまで物語を書くこと」の内省の「物語を書くこと」が生きていることそのものであるとの洞察に至る。

近年、物語を人文科学にとどまらず、社会科学の領域においても問題解決のツールとして応用する動きが顕著である。本稿が「物語を書くこと」の分析を糸口として人間の問題、他者の問題を扱い、ついに「物語を書くこと」という人間の生きる営みそのものであること、人間の洞察に至ったことは、今日なせか多様な分野で物語論が（ストーリーが、ナラティブが）論じられるようになったかを告知するものである。願わくば、

今後、こうした物語を基礎にした新たな社会科学の構築にも関心をよせてほしい。

本稿は「物語を書くこと」の議論の射程を明らかにしようとする試みとして高く評価できる。また、書くことに高い関心を払ってきた著者らしく、文章は端的・明快であり、高い文章表現力をもっていることが示されている。今後、さらに精緻な分析を期待して優秀賞とした。

優秀賞 本城 健太(経営学科卒)

「地方自治体における就業支援とキャリア形成支援策」についての概要と所見

本城君は論文(二ページ)において、考察の目的を「市民にとって国よりも身近な自治体による、市民への『就業支援』や『キャリア形成支援』は実践されているのだろうか」と提示している。おそらく彼は、地域経済の変化や地域住民のニーズなどについて、地方自治体は国よりも保有する情報量が豊富であるから(たとえ地域医療や地域福祉と同様に)キャリア形成支援においても地域密着が優位性を持つと考え、それを考察のテーマに選んだのであろう。その着想は高く評価できる。また、行政担当者や市議会議員へのヒアリングから必要な情報入手するといった積極的な研究姿勢も高く評価できる。そして、問題意識(「就業支援をキャリア形成支援の地域パターンを突き出す要因分析」)に対する結論を確実に導き、それに伴うインプリケーションまでも導いている。これらの理由より、優秀賞に十分に値する論文であると評価する。

なお、以下のような不十分な点があったことも付け加えておきたい。結論部(十七ページ)において「自治体規模に比例して『就業支援』や『キャリア形成支援』の内容に少なからず差の相違がみられた」と書かれている。たしかに、市職員へのキャリア支援に関しては、比較対象として三自治体の中で最大規模自治体のそれが最も充実している。その点では相違が見られる。換言すると、自治体規模が支援のパターンを決める要因となつていそうである。しかしながら、市民への就業・キャリア形成支援を見るとき、規模の小さき自治体は、なぜならば、規模の小さい自治体はともに支援事業を実施しているから、最大規模自治体も実施しているもの、就業支援の場合には国からの補助を受けていたり、キャリア形成支援の場合には対費用効果が薄いため中止と、三自治体間の差は大きくないからである。

「どの自治体にも共通すること」は、財政難を抱えているということだ。「就業支援」や「キャリア形成支援」があるのはそれらに関連して予算が確保できれば、おのずと支援内容が広がると見られるだろう」と書かれている。たしかに、地方財政のバイが大幅に削減されたこと、地方自治体が目も拡大している。ただし、論文の七

八ページに事例とあがっている他の支出(地域医療(A市の場合には市立病院)、少子化対策、高齢者向けサービス、学校教育など)もきわめて重要である。そうなること、歳出項目間のトレードオフが起きることは容易に想像できる。あるいは、就業・キャリア形成支援関連予算の一部が起業家育成のそれに代替する可能性もあるだろう。イギリス教育と起業家育成に少なからぬ共通性があったことは周知のとおりである。したがって、税収の拡大・就業・キャリア形成支援の拡大という結論に強い説得力があるかどうかは疑問なのである。

最後に指摘する点は些細であるが、三、四ページにおける先行研究の紹介では埼玉県と大阪府のキャリア教育が取り上げられている。本城君が分析対象としたのは、県や府ではなく「市」である。同じ地方自治体ではあるが、都道府県と市町村では行政の役割が異なる。それゆえ、先行研究として比較対象にすることが適切であるのか疑問が残った。

以上の評者の疑問点は地方財政とも関連している点で、精緻な分析を求めたならば、かなりの研究時間のみならず困難さも伴うだろう。深い考察のゴールを目指して、本論文はまさにキャリア形成の視点からアプローチをスタートしているからである。そして、見事に先述したようなキャリア形成と含意を導いた。学部生が執筆した優秀な論文として、その努力と成果を再度高く評価したい。

佳作 王 子鷲(経営学科卒)

「なぜ、総合社社に入りたがる」についての概要と所見

王君の論文は、本人の就職活動の体験をベースにして、日本の総合社への入社を促したものである。論文題目・論文要旨が論文全体の内容を適切に表しており、必要な文献・資料が適切に用いられ、出展も明らかにされていると認められる。

第一章では、大学生が総合社に入る理由について述べられていて、第二章と第三章においては、総合社社長の事業内容と今後の方向性について議論されている。就職活動における総合社への就職を促している学生にとっては大いに参考になると評価できる。

ただし、論文の全体的な内容が本人の個人的な体験に過度に頼っているが故に、問題提起から結論に至るまでの展開が必ずしも論理的に行なわれたとはいえない。特に、総合社の事業モデル・収益構造の変化との間に、論理の整合性が十分得られなかった。また、結論を一般化するに際しては若干無理が感じられる。論文として評価はともかく、本人の総合社への熱い思いを完全な文章の形で表わしたことは高く評価すべく、佳作に十分値すると思われ。

平成27年度 入試案内

Table with columns: 入試区分, 募集人員, 出願期間, 試験日, 判定会議日, 可否通知発送日, 入学手続締切日. Rows include AO入試, 附属高校推薦入試, 指定校推薦入試, 公募制推薦入試, 商業科特別推薦入試, 一般入試, 社会人入試, 帰国子女入試, 編入学入試, 特別編入学入試, 大学院入試.



千葉経済大学は、「片手に論語、片手に算盤」という建学の精神並びに「良識と創意」という校是を踏まえて、専門的知識のみならず広い視野と高い倫理意識を身につけた人材の養成を図るものとする。

平成26年度 オープンキャンパス日程

Table with columns: 回数, 開催日, 備考. Lists dates for AO入試 (September and October) and a graduation ceremony (September 15).

※開催時間 10:00 ~ 12:30 MENU 大学紹介、体験模擬授業、入試説明会、学内見学ツアー、個別相談、学食体験 他 詳細については、大学HPをご覧ください。

学内施設の改修

大学では、電気設備、衛生設備、空調等老朽化した部分の更新と、学生の利便性向上のため順次施設の改修と設備のリニューアルを行っています。その中から学生生活に関連する部分の改修項目についてご案内します。

○照明のLED化工事

二号館一〇一大講義室につき二号館二〇八講義室、総合図書館閲覧室・開架書庫、大学事務局の照明をLEDへ改修変更しました。これらは省エネ化を図るのみでなく、今までより平均照度を上げ明るくなるように設置計画しています。

○学生ホール改修工事

大学学生ホール「エステリア」二階の窓際の各テーブルで使用できるように電源コンセントの増設工事を行いました。これは学生がPC端末や携帯電話の充電に使用できるように配慮したものです。ただし、昼休みの時間帯は昼食をとる学生を優先するため一階コンセントの電源は使用不可となります。

また、一階学生食堂については一人で食事をとる学生に対応するためのカウンター席を新設しました。今後の利用状況を見ながら、学生の使いやすい学生食堂のレイアウトを検討していきます。

○学外校地改修

硬式野球部の部員増加に対応するため、今まで野球部が使用していた小間子野球練習場に加え若松にあったゴルフ練習場を改修し五十メートル級のネット内で打撃練習や守備練習が可能な野球練習用施設としました。



人事異動

- 【教員】
○退職 (平成26年3月31日付)
・岡野 衛士 准教授
○採用 (平成26年4月1日付)
・都築 栄司 専任講師
○昇任 (平成26年4月1日付)
・小川 順子 教授
・川戸 貴史 准教授
・佐藤 恵 准教授

- 【職員】
(1)退職 (平成26年3月31日付)
・根本あや子 庶務課主任
・酒井 保美 入試広報センター参与
・中村 肇 キャリアセンター
(2)採用 (平成26年1月1日付)
・齋藤 大介 キャリアセンター
・脇田 均 キャリアセンター嘱託

- (平成26年4月1日付)
・松原 一夫 入試広報センター兼 大学学務課参与
・石塚 豊実 入試広報センター参与
・根本あや子 庶務課 (嘱託)
(3)昇任 (平成26年4月1日付)
・市来 伸也 情報企画戦略室次長兼 庶務課長
・秋吉 正裕 庶務課係長兼 法人事務局総務課 (管財班)
・古川将偉治 キャリアセンター係長

- ・魚野 力 入試広報センター主任
(4)配置換 (平成26年4月1日付)
・陶山 具史 法人事務局長
兼 大学・短期大学部事務局長
兼 情報企画戦略室長

- ・中山 寿 情報企画戦略室係長
・脇田 均 情報企画戦略室参事兼 キャリアセンター参事 兼 学長顧問
・三本 安乃 庶務課
・高遠 麻保 法人事務局総務課 (嘱託)

喫煙室の設置について

平成二十六年より、学内に喫煙室の設置を行いました。昨年までの屋外での喫煙所を廃止し、OYANE付近に設置しました喫煙用ユニットハウスへと変更することにより、学内分煙の推進、喫煙者への副流煙等の受動喫煙に関する害を防ぐことを意識しました。



学内で喫煙される際は、何卒、分煙への協力をお願いいたします。